

SEEDこどものめ未来プロジェクト

Healthy eyes for children. Healthier futures.

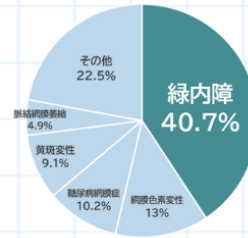
10月10日は「目の愛護デー」

人は情報の80%を視覚から得ているといわれています。

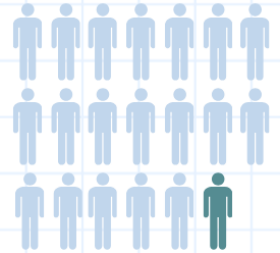
「目の愛護デー」が制定されている10月、かけがえのない目の健康について考えてみませんか？

日本人の視覚障害の原因疾患の第1位である「緑内障」。緑内障は、徐々に視野が狭くなっていく疾患で、近年子どもたちの間で深刻化する「近視」とも深い関係があることがわかってきています。特に「強い近視」は、緑内障のリスクが高いとされ、注意が必要です。

日本人の視覚障害の原因疾患^{*1}



40歳以上の日本人のうち、
20人に1人が緑内障と診断^{*2}



活動報告レポート

こうした背景を受け、「SEEDこどものめ未来プロジェクト」では、子どもたちの目の健康を守る活動をより強く推進していくにあたり、今回、東京都「こどもスマイルムーブメント」の中高校生職業体験事業としてプログラムを提供し、参加した中高生と「近視の子どもを増やさないためにできること」をテーマにディスカッションを実施しました。



中高生が感じる「近視が増えている理由」は？

近年の近視の増加は、環境による影響が大きく、屋外で過ごす時間の減少や近距離を見る作業の増加等が指摘されています。^{*3}参加者には、自分たちの日々の生活や環境と照らし合わせながら、「近視の子どもが増えている原因」を考えてもらいました。

学校でも家で、
ずっと画面を
見ている…



「小学生からスマホを
持つ子が増えている！」

「暑さで外出を制限
されることがある」

そもそも近視に
ついてよく
知らないかも



デジタル機器の利用時間が多いこと、屋外活動の時間が減っていることを中高生自身も実感している様子がうかがえました。



みんなで考えた、「近視の子どもを増やさない」ためのアイデア！

スマホとの距離が近いと
アラート通知が来るよう
に設定する

学校に啓発ポスター
を掲示する！

SNSで啓発
広告を配信する

VRのようなゲームで
近視の不便さを
体験してもらう

キャラクターやイラスト
を活用して興味を持って
もらう！

当事者である中高生ならではの目線で、自由なアイデアが発表されました！



こどもスマイルムーブメントとは？

幅広い主体の連携により、「チルドレンファースト」の社会を創出する東京都の取組です。

企業、NPO、大学・学校等の主体が「子供の目線を大切にしたい取組」を推進し、子供を大切にする社会気運の広がりを目指します。

子どもの未来の「め」のために

近年、近視の発症予防や進行を抑える治療など、近視に関する様々な研究が進んできています。大人たちにとっては子どもの頃にあたりまえだったことも、様々な研究の成果により、情報が日々更新されつつあります。子どもたちの未来の「め」を守るためにも、「目の愛護デー」を機に、正しい情報に触れ、確かな知識へとアップデートしていきましょう。



子どもの目に関する情報や
コラムなど、どんどんアップ
デートしています！



SEEDこどものめ未来プロジェクト
Webサイトはこちら

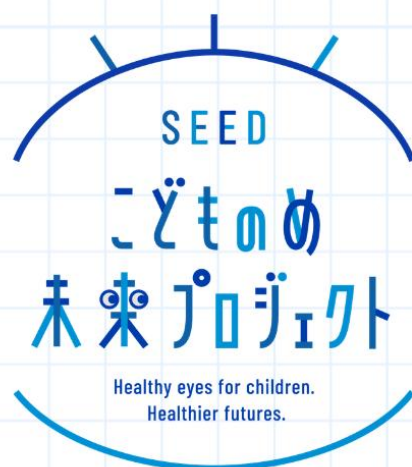


メマモン

^{*1} 森實祐基、視覚身体障害者認定の実態疫学調査、厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 視覚障害の認定基準に関する調査研究、2021年度総括研究報告書（厚生労働科学研究成果データベース）（https://mhwl-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202310072A-buntan8_0.pdf）をもとに株式会社シーード作成
^{*2} 日本緑内障学会多治見疫学調査報告書、日本緑内障学会、Web掲載ページ「日本緑内障学会多治見緑内障疫学調査（通称：多治見スタディ）報告」、2012年、<https://www.ryokunaisho.jp/general/ekigaku/tajimi.php>
^{*3} 文部科学省「子供たちの目を守るために 知っておきたい近視の知識」、2024年、https://www.mext.go.jp/content/20240828-mxt_kenshoku-000037357_01.pdf



これまでの 活動報告レポート



SEEDこどものめ未来プロジェクト

Healthy eyes for children. Healthier futures.

活動報告レポート

① 子どもの目に関する実態調査を実施

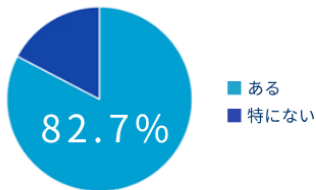
18歳未満の子どもをもつ保護者600名と、日々子どもの目を診察している眼科医220名を対象に調査を実施いたしました。



医療現場で増える“子どもの目”相談、家庭・医療機関・企業の連携が鍵

本調査結果から、医療現場において子どもの目の相談が増えている実態が明らかになりました。さらに、子どもの目を守るためには、保護者・眼科医や専門家・企業が役割を分かち合いながら連携していくこと、そして、保護者と子どもたちへ正しい知識を提供し、行動を促していく必要性の高まりが示唆されました。

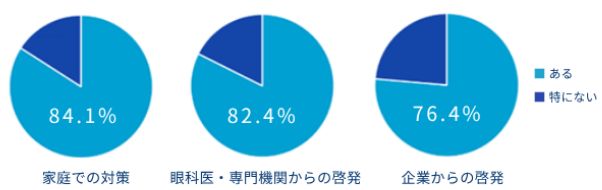
ここ数年で増加傾向の小児の目の疾患・症状 (N=220)



※複数回答

▲眼科医の82.7%がここ数年で増加していると感じる小児の目の疾患・症状が「ある」と回答。

対応が必要だと感じる小児の眼の疾患・症状の有無 (N=220)

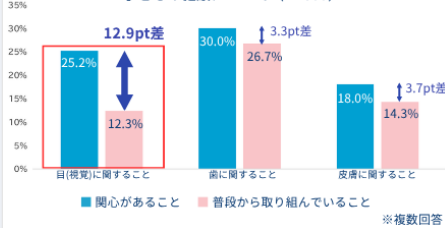


※1位～3位までの複数回答

▲眼科医に「家庭、眼科医・専門機関、企業それぞれにおいて対応が必要と感じる小児の目の疾患・症状があるか」質問したところ、いずれも75%を超える高い数値に。



子どもの健康について (N=600)



※複数回答



関心は高いのに対策できていない“目”のケア

「目（視覚）」に関心がある保護者は25.2%と、「歯」の30.0%に続いて2番目に関心があるのに対し、「実際に取り組んでいることがある」との回答は12.3%にとどまり、関心と実際の行動に12.9ポイントの差が見られました。一方で、「歯」は、関心と実際の行動の差が3.3ポイントであったことから、「歯」と比べても「目」については「関心はあるが対策できていない」実態が明らかになりました。

※詳細は弊社プレスリリースにて公開しています。
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7743/announcement/117196/00.pdf>
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7743/announcement/117197/00.pdf>

② 子どもの目に関する情報サイトを公開

本調査結果を受け、子どもの目に関する情報サイトを公開しました。子どもたちが保護者と一緒に楽しく興味をもって学ぶことができるよう、オリジナルキャラクターの「メマモン」と「マナエ」が登場し、見えるしくみや代表的な目の症状等を、イラストやストーリーを交えながら紹介しています。



Webサイトはこちら



アンケートはこちら

《アンケートのお願い》
 本プロジェクトの活動およびWebサイトをより良いものとするため、簡単なアンケートを実施しています。
 みなさまからの貴重なご意見・感想をお待ちしております。


<https://www.seed.co.jp/children/>

シードは製品の提供にとどまらず、本プロジェクトを通じて、保護者の方々が日常のちょっとした変化から子どもの目の異変にいち早く気づき、適切なタイミングで専門機関へ受診・相談できるようサポートしてまいります。

SEEDこどものめ未来プロジェクト

Healthy eyes for children. Healthier futures.

活動報告レポート

未来の「め」を育てよう！親子で学ぶ近視とスポーツ体験の一日



近視とスポーツ体験 ～学んで・動いて・目を知ろう！～

シードは2023年より教育機関向けの出前授業を開始し、これまでに8,000人を超える子どもたちへ目の健康に関する啓発活動をおこなってきました。また2026年1月には、保護者の方々や眼科医・専門家、シードが一体となって子ども一人ひとりの未来を見守り、育てていくことを目指す「SEEDこどものめ未来プロジェクト」を立ち上げました。

本イベントは、6月10日の「こどもの目の日」に先立ち、同プロジェクトのリアルイベント第1弾として6月6日に企画・実施しました。

①目に関する講話／ラグビー・視力検査体験



視力検査体験の様子

近年、世界的に近視人口が増加し、子どもの視力や近視予防への関心が高まっています。こうした背景を踏まえ、小学生とその保護者を対象に、眼科医による講演やラグビー選手とのトークセッション、ラグビー体験教室、視力検査体験などを通じて、楽しみながら近視に関する正しい知識を学べる機会を提供しました。

②親子で始めたい「3つのチャレンジ」！

近視を進めさせないために、毎日の生活の中で意識したい「3つのチャレンジ」を紹介し、保護者とお子さまそれぞれに、これから取り組もうと思った項目へシールを貼り付けていただきました。

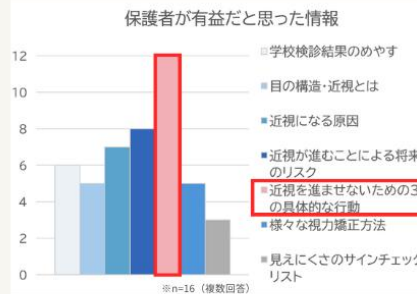
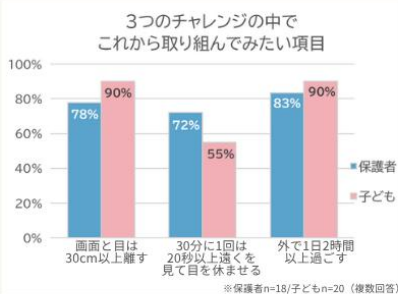
画面と目は
30cm以上
離そう！30分に1回は
20秒以上遠く
を見て目を
休ませよう！外で1日
2時間以上
過ごそう！

これから取り組んでみたい項目にシールを貼り付けている様子

- ✓なるべく明るいところで操作しよう
- ✓背筋をまっすぐに、肘は直角に
- ✓画面は目線と垂直になるように置こう

- ✓窓の外などを見るのがおすすめ
- ✓まばたきを意識的にしてみよう

- ✓外で過ごすとき近視が進むことを抑える効果があるといわれています（日陰でもOK）
- ✓帽子や日焼け止めで紫外線対策も忘れずに
- ✓水分補給もしっかりしよう



多くの子どもたちが「3つのチャレンジ」に積極的に取り組もうとする姿勢を見せてくれましたが、そのうち「30分に1回は20秒以上遠くを見て目を休ませる」ことは、他の項目に比べると保護者・子どもの双方でやや票が集まりにくく、苦手意識があることがうかがえます。

また、イベント終了後の保護者アンケートでは、「近視を進めさせない3つの具体的な行動」が有益な情報として受け止められており、具体的な対策への関心の高さがみられました。

「SEEDこどものめ未来プロジェクト」のWebサイトでは、そんな子どもたちへの呼びかけのために、休憩タイミングを知らせるポップアップを表示させるなど工夫を凝らしています。これからも、本イベントのような保護者の方々や子どもたちとのコミュニケーションを大切に、子どもたちの未来の「め」を守る情報を発信していけるよう取り組んでまいります。

イベント当日の様子は、
こちらからご覧いただけます！
<https://www.seed.co.jp/children/>



メマモン



本プロジェクトの活動および
Webサイトをより良いものとするため、
簡単なアンケートを実施しています。
みなさまからの貴重なご意見・ご感想を
お待ちしております。



マナエ

